

令和5年 かながわ日体未来塾

○わかりやすい指導案
(知識分野 体育理論 保健学習)



担当	さとう ひろつぐ
講師	佐藤 宏継

これから教育実習に向けた指導案づくりのポイントを説明します。【クリック】

体育の知識分野(体育理論) 保健(知識分野)の指導案

- 1 体育理論の指導案
単元目標 指導内容
- 2 保健学習の指導案

次は、知識分野の体育理論と保健学習の指導案の書き方ですが、実技分野の書き方とは異なります。【[クリック](#)】

1 体育理論

保健体育科(体育)

【単元計画】

1 単元名 **単元名**

● 「領域」「型」...は「種目」を記載します。

2 対象 年 組 名

3 期間 平成 年 月 日() ~ 月 日()

4 場所

5 単元の目標

(1)

単元の目標

● **体育学習(実技の分野)の単元目標は、学習指導要領(解説)の「知識及び技能」「知識力、思考力、判断力等」「学習に向かう力、人間性等」の順に記載しましたが...**

● 「領域」「型」...は「種目」を記載します。

**単元名は
領域... H 体育理論
内容... 1 運動やスポーツの多様性
(中学) 2 運動やスポーツが心身...
※ 1~ の項目を記載する**



体育理論の単元名は、H 体育理論 単元名(大単元名)を書きます。単元目標の書き方は実技分野と異なります。【クリック】

1 体育理論の指導案(単元目標)

保健体育科 (体育 運動に関する領域)
学習指導と評価の計画

【単元計画】

1 単元名 単元名について

- 「領域」「型：種目」または「種目」を記載します。

2 対象 年 組 名

3 期間 平成 年 月 日 () ~ 月 日 ()

4 場所

5 単元の目標

(1) 単元の目標について

- どこを書くの？
「解説」の「知識」「知識力、思考力、判断力等」「学習に向かう力、人間性等」の
の中の文を書く...？

体育学習

単元目標は、解説の観点別の四角の中の文を語尾を変えて目標とします。「知識及び技能」は、体育理論では技能がないので「知識」になります。【クリック】

体育理論の単元目標(例:中1,2年)

(1) 運動やスポーツの多様性

ア 知識

(1) 運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 運動やスポーツが多様であることについて理解すること。

(ア) 運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。**を身に付ける**

(イ) 運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。**を身に付ける**

(ウ) 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であること。**を身に付ける**

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

例えば、中学校第1,2学年の体育理論では、「運動やスポーツの多様性」の単元には(ア)(イ)(ウ)の内容があるので、語尾を「身に付ける」にして目標とします。同様に「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」も同じように語尾を変えます。【クリック】

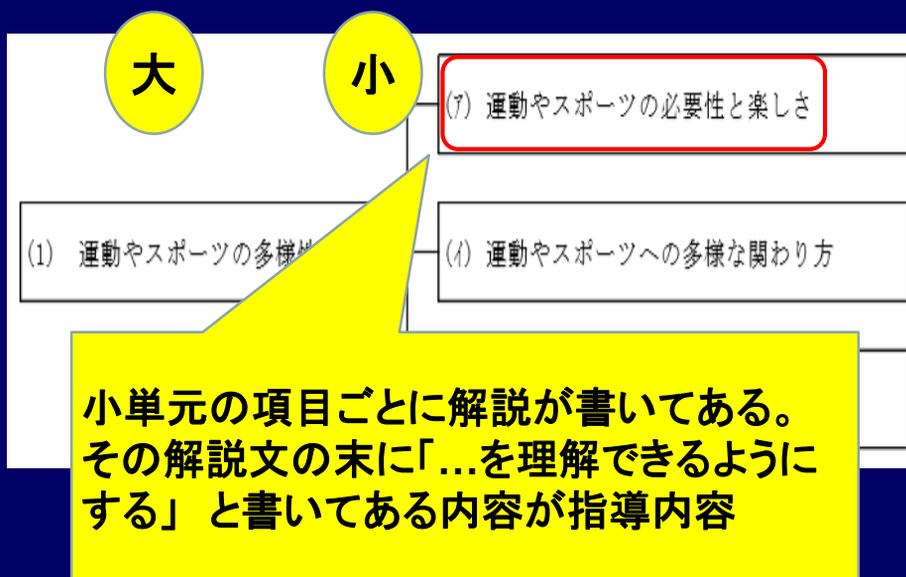
体育学習(実技分野)の指導の内容
各観点別の例示...

例示を指導内容とし、学習活動に即した評価規準として活用した。が...

体育学習(知識分野)の指導の内容
各観点別に例示はありません。

実技分野では単元の指導内容は、「例示」として示されていましたが、知識分野では示されていないので、【クリック】

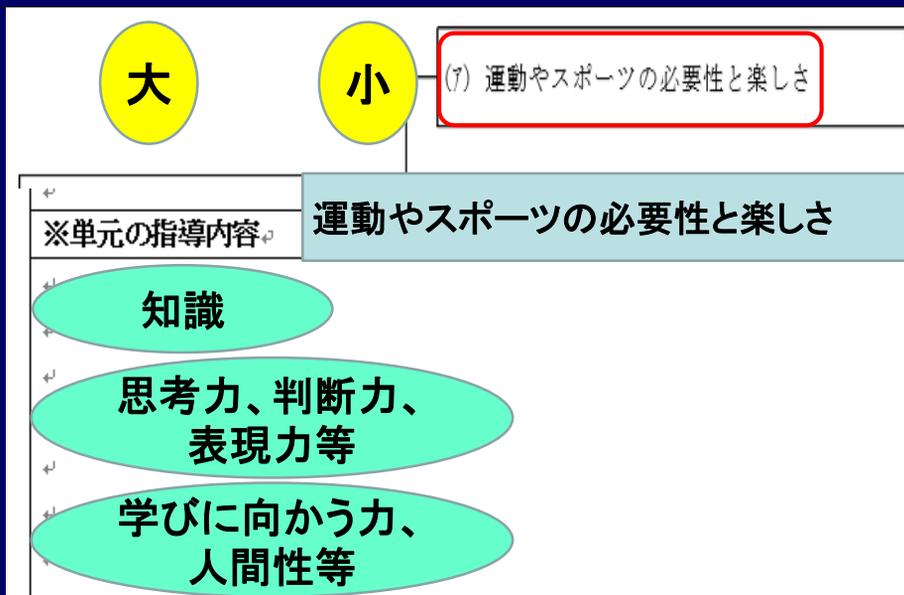
体育理論の単元の指導内容は？



新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

単元の指導内容は、学習指導要領(解説)の指導する小単元の説明文に「～を理解できるようにする」と書かれている内容が指導内容になります。【クリック】

新 体育理論(中1)の指導内容は？



新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

例えば、中学校1学年の「H 体育理論 運動やスポーツの多様性 ア 運動やスポーツの必要性と楽しさ」の指導内容は、知識の観点別説明内容の「～理解できるようにする」とあるところが指導内容になります。しかし、他の指導の観点には「～理解できるようにする」との説明文はありません。【クリック】

新 体育理論 小単元の指導内容

知識

(7) 運動やスポーツの必要性和楽しさ

① 運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたことを理解できるようにする。

② 運動やスポーツは、人々の生活と深く関わりながら、いろいろな欲求や必要性を満たしつつ発展し、その時々の変化とともに、その捉え方が、競技としてのスポーツから、誰もが生涯にわたって楽しめるスポーツへと変容してきたことを理解できるようにする

また、我が国のスポーツ基本法などを適宜取り上げ、現代におけるスポーツの理念についても触れるようにする。

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「知識」の説明文では、この2箇所「～理解できるようにする」が書いてあり、その前の内容が指導内容に該当し、この小単元を指導する場合の本時の目標にもなります。
【クリック】

指導要領解説の見かた

- ① 「...理解できるようにする。」
 - ・原則必ず扱う内容(主たる内容)
- ② 「...触れるようにする。」
 - ・主たる内容を扱った上で触れる内容
- ③ 「...取り上げる程度とする。」
 - ・あまり深く扱わない

学習指導要領の説明文では、次の3つの書き方が示されています。①の「～理解できるようにする」と書かれているところは、「必ず指導する内容」と記載されていることを理解してください。【クリック】

新 体育理論の小単元の指導内容

(例:中1)

思考力、判断力、
表現力等

イ 思考力、判断力、表現力等

※ 単元目標と同じ

運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。

「...を身に付ける」

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「思考力、判断力、表現力等」は小単元ごとの説明がありませんので、学習指導要領解説の□の中の語尾を変えて本時の目標とします。つまり単元目標と同じになります。
【クリック】

新 体育理論の単元の指導内容

(例:中1,2)

学びに向かう力、
人間性等

ウ 学びに向かう力, 人間性等

※ 単元目標と同じ

運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと
と「...を身に付ける」

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「学びに向かう力、人間性等」についても小単元に説明文がありませんので、□の中の文の語尾を変えて本時の目標とします。【クリック】

新 体育理論の本時の目標(例:中1)

その日に指導する内容

小単元の内容

(1) 運動や

(7) 運動やスポーツの必要性と楽しさ

小単元の解説が書いてある。
その解説文の末に「...を理解できるようにする」と書いてある内容を本時の目標とする(※ 「知識」以外は単元目標と同じ)

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

まとめると本時の目標は、その日に指導する小単元の知識の内容が本時の目標になります。【クリック】

新 体育理論の本時の目標(例:中1,2)

(7) 運動やスポーツの必要性と楽しさ

知識

運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたことを理解できるようにする。

運動やスポーツは、人々の生活と深く関わりながら、いろいろな欲求や必要性を満たす手段として発展してきた。競技として発展してきたことも、変容してきたことを理解できるようにする。

語尾は「...理解できるようにする」でよい

また、我が国のスポーツ基本法などを適宜取り上げ、現代におけるスポーツの理念についても触れるようにする。

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

先に述べたように、「知識」の本時の目標は、「～を理解できるようにする」と書かれている内容を本時の目標とします。【クリック】

新 体育理論の本時の目標(例:中1,2)

思考力、判断力、
表現力等

イ 思考力、判断力、表現力等

※ 単元目標と同じ

運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。

「...を身に付ける」

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「思考力、判断力、表現力等」は、「～理解できるようにする」と書かれたところがないため、単元目標と同じにします。【クリック】

新 体育理論の本時の目標(例:中1,2)

学びに向かう力、
人間性等

※ 単元目標と同じ

ウ 学びに向かう力、人間性等

運動やスポーツが多様であることについて、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むこと
と「...を身に付ける」

新 中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

「学びに向かう力、人間性等」も単元目標と同じです。【クリック】

体育理論の単元計画(例:中学1年)

運動やスポーツの多様性

ア 運動の楽しさ

大単元名
「運動やスポーツの多様性」

高校は1つの大単元に4つの小単元

中学は1つの大単元に3つの小単元

単元計画(大単元名:)

回	小単元名	主な指導内容
1	運動やスポーツの必要性と楽しさ	
2	運動やスポーツへの多様な関わり	
3	運動やスポーツの多様な楽しみ方	

主な内容
小単元の「～理解できるようにする」の中の単語や短文を記載
例:多様な楽しさ ...とらえ方

体育理論の単元計画ですが、実技分野と異なり、大単元に対して中学は小単元が3つ示されているので、それぞれ1単位時間ずつ指導する場合は、このようになります。主な内容は、「～理解できるようにする」の主な内容(単語など)を書きます。【クリック】

(7) 運動やスポーツの必要性と楽しさ

運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたことを理解できるようにする。

運動やスポーツは、人々の生活と深く関わりながら、いろいろな欲求や必要性を満たしつつ発展し、その時々の変化とともに、その捉え方が、競技としてのスポーツから、誰もが生涯にわたって楽しめるスポーツへと変容してきたことを理解できるようにする。

ま
ツの
主な指導内容...「理解できるようにする」の前の単語や短文を書く

例えば、小単元の「運動やスポーツの必要性と楽しさ」では、「理解できるようにする」とあるところの主な内容は、このようであり、この中のいくつかを書けばいいです。【クリック】

<p>単 元 名 を 入 れ ば な る</p>	<p>「知識」 運動やスポーツの多様性について、(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して内容を)理解している。()内は省略可</p>
<p>単 元 名 を 入 れ ば な る</p>	<p>「思考・判断・表現」 運動やスポーツの多様性について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p>
<p>単 元 名 を 入 れ ば な る</p>	<p>「主体的に学習に取り組む態度」 運動やスポーツの多様性について、(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して)学習に積極的に取り組もうとしている。 ()内は省略可</p>

次は評価規準ですが、単元の評価規準(内容のまとまりごとの評価規準)は、それぞれの観点別の文頭に大単元名を入れ、その後このような文を加えれば評価規準となります。※()内は省略してもいいです。【クリック】

教育実習の手引きの表記

H 体育理論

(1) 文化としてのスポーツの意義

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・文化としてのスポーツの意義について理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価規準は設定していない。	・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。

中学1,2学年は積極的に
中3,高1学年は自主的に
高校2,3学年は主体的に

中学校体育理論 第3学年の例より

大学から渡された実習の手引きには、体育理論の評価規準の例がこのように記載されています。ただ、主体的に学習に取り組む態度は、学年によって積極的に、自主的に、主体的にと解説では表記されています。【クリック】

学習活動に即	休	「知識」	運動やスポーツの必要性と楽しさ	について、(課題を発見し、目指した活動を通して、内容を)理解している。()内は省略可
	研	「思考・判断・表現」	運動やスポーツの必要性と楽しさ	について、自己の課題を発見し、適切な解決に向けて思考し判断する。 ()内は省略可
中1,2... 積極的	中3高1	自主的	高2,3... 主体的	○○の活動...グループ学習、調べ学習などについて(課題を発見し、その解決を目指した活動を通して)○○の学習に積極的に取り組もうとしている。()内は省略可

次に、学習活動に即した評価規準の考え方ですが、学習活動に即した評価規準も、小単元名の後にこのような文を加えて評価規準とします。※()内は省略してもいいです。ただ、「主体的に学習に取り組む態度」については、中学と高校では学年によって少し表現が異なります。【クリック】

保健(知識分野)の指導案

1 保健学習の指導案

次は、保健学習の指導案の書き方ですが、体育理論の書き方と基本的には同じです。【[クリック](#)】

「保健」指導案の書き方(日体大方式)

●単元名と単元の目標及び本時の目標

単元名	
単元の目標	単元名 単元の目標 本時の目標
本時の目標	

●指導観

題材観	題材観 生徒観 教材観	
生徒観		
教材観		

保健学習の指導案ですが、単元名と単元目標、本時の目標を書くことになっています。【クリック】

指導案

領域...保健は領域表示はありません。

●単元名と単元の目標及び本

単元名	▽
単元の目標	▽
本時の目標	▽

大単元... (1) 心身の機能の発達と...
(中学) (2) 健康と環境
※ (1)~(4) のいずれかを記載する

大単元... (1) 心身の機能の発達と...
(中学) (2) 健康と環境
大単元の下の方の□の内容を記載
※下の□の内容が多い場合は、中単元
に関する箇所だけでよい

中単元の解説の中で、その文の末に「...を理解
できるようにする。」と書いてある部分で、本時の
指導内容が目標となる

単元名は、大単元名を書いて、単元目標は、指導要領解説の□の中を書きますが、量が多くなるので、中単元に関する箇所を書いてもいいです。本時の目標は、その日に指導する中単元の「～を理解する」と書いてある箇所が本時の目標になります。
【クリック】

指導案の書き方(日体大方式)

●指導観	
題材観	題材(大単元の内容)にかかる課題や将来の生徒がスポーツにかかわる問題点等を書く
生徒観	題材や教材への生徒の興味・関心の様子を書く
教材観	教材(小単元の指導内容)にかかる留意点や生徒の学習活動、指導法等を書く

指導観として、題材観や生徒観、教材観がありますが、吹き出しの様な内容を書きこんでください。【クリック】

指導案の書き方(日体大方式)

●単元の評価規準（国立教育政策研究所「評価規準」を参照にして作成）

関	内容のまとめりごとの評価規準 ※単元ごとの評価規準
時間	

●指導と評価の計画

時間	学習活動に即した評価規準を書く欄は設けられていない
	単元と評価の計画

●本時の展開

段階	学習内容と学習活動	学習形態	教師の指導・支援	評価の方法・観点
	本時の展開			

次に内容のまとめりごとの評価規準と指導と評価の計画、本時の展開を書きます。しかし、日体大方式では「学習活動に即した評価規準」の欄はありません。【クリック】

指導案の書き方(日体大方式)

●板書計画

板書計画(1~2)

●本時のワークシート

ワークシート(学習カード、配布物)

最後は、板書計画と学習カードや配布物を書きます。【クリック】

保健学習

領域... 保健分野(中学)

※ 領域表示は書かなくてよい

大単元... (1) 健康な生活と疾病の予防
(中学) (2) 心身の機能の発達と...

※ (1)~(4)単元のいずれかを記載する

保健体育科(体育 運動)

【単元計画】

1 単元名 単元名に

● 「領域」「型：」は「種目」を記載します。

2 対象 年 組 名

3 期間 平成 年 月 日() ~ 月 日()

4 場所

5 単元の目標

(1) 単元の目標について

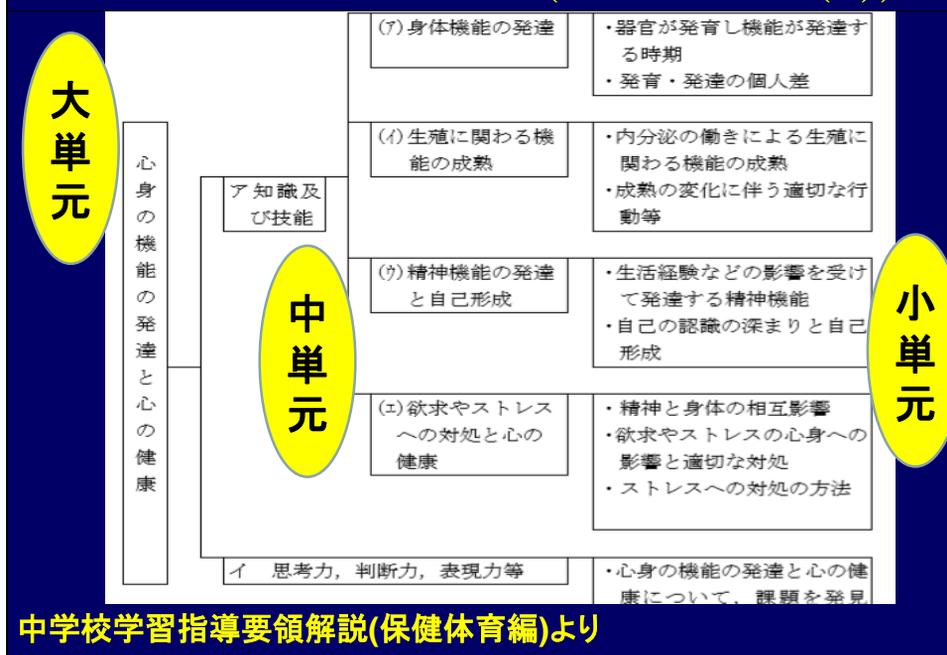
大単元... (1) 健康な生活と疾病の予防
(中学) (2) 心身の機能の発達と...
※ 各単元の下の方の□の内容を記載



体育学習
ハンドブック
(神奈川県立
体育センター
H25,3)より

単元の表示は、領域はありませんので書かなくていいです。単元名は、大単元名を書きます。【クリック】

保健学習の単元構成(例 中学 (2))



中学も高校も単元構成は、大単元と中単元、小単元で構成されていますが、高校は小単元の解説までありますが、中学は中単元までがほとんどです。【クリック】

保健学習の単元目標(例 中学(2))

(2) 心身の機能の発達と心の健康

(2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 心身
への対
(ア) 身
時期
るこ
(イ) 思
また
(ウ) 知
を受
自己

それぞれ単元の□の中を全部書いてもよいが、内容が多いので、本時に関係ある(中)単元の内容 アイ...の一つでもよい。「...こと」で終わっているので、語尾を「～を身に付ける」に変える。

- (エ) 精
スは
欲求やストレス

対処する必要があること。

イ 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それら表現すること。

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

単元の目標は、学習指導要領解説の観点別に□で囲まれている箇所の文を書いて語尾を変えます。しかし、量が多いので、中単元に関係する所を選んで書いてもいいです。語尾を「～を身に付ける」に変えます。【クリック】

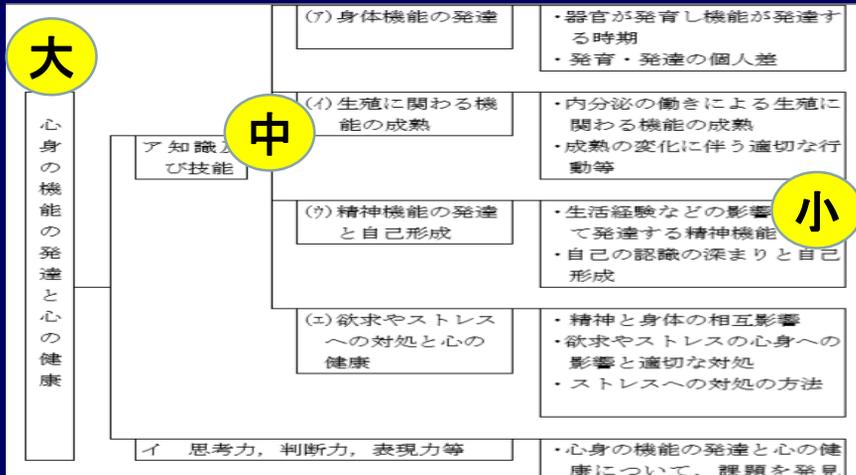
保健学習 単元の指導内容(本時の目標)

大 心身の機能の発達と心の発達 ア 知識及び技能	(ア) 身体機能の発達	・器官が発育し機能が発達する時期 ・発育・発達の個人差	小
	(イ) 生殖に関わる機能の成熟	・内分泌の働きによる生殖に関わる機能の成熟 ・成熟の変化に伴う適切な行動等	
	(ウ) 精神機能の発達と自己形成	・生活経験などの影響を受けて発達する精神機能 ・自己の認識の深まりと自己形成	
	(エ) 欲求やストレスの対処と心の発達	・精神と身体の相互影響 ・欲求やストレスの心身への影響	

中単元または、小単元の項目ごとに解説が書いてあり、その解説文の末に「...を理解できるようにする。」と書いてある内容が指導内容で、本時の目標になる。

また、本時の目標は、その日に指導予定の中単元または、小単元の解説文の「～理解できるようにする」と書かれているところをそのまま本時の目標とします。【クリック】

大単元 心身の機能の発達と心の健康
 中単元 ア 生殖にかかわる機能の成熟
 小単元 ・内分泌の働き ・適切な行動



中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

例えば、中学の単元では、大単元の「心身の機能の発達と心の健康」では、【クリック】

単元の目標(例 中学 保健 (2))

(2) 心身の機能の発達と心の健康

- (2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。
- (ア) 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があること。
- (イ) 思春期に、心身の機能の発達に伴って、生体に関する機能が成熟すること。
- (ウ) 生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされること。

**「...こと」で終わっているので、
語尾を「～を身に付ける」とする。**

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

単元目標は、□の中の「～こと」で終わっている所の語尾を「～を身に付ける」にします。【クリック】

本時の目標(中・小単元の指導内容)

(イ) 生殖に関わる機能の成熟

- 1 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。
- 2

語尾は「～を理解できるようにする」とする。※そのままよい

なお、中学校全体で共通理解を図ることで、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

指導内容は、中単元の解説文の「～を理解できるようにする」と書いてある箇所なので、そこを本時の目標とします。【クリック】

単元の計画(大単元または中単元)

単元計画(大または中)

※指導案に記載の指示はないが作成上不可欠なものです。

単元(中または小)	主な内容
解説の中単元または、小単元の項目を書く	「...理解できるようにする」と書いてある文中の主な内容を書く

中学校学習指導要領解説(保健体育編)より

単元計画は、中単元または小単元名を書いて、その解説文の中の「～を理解できるようにする」と書いてある分の中の単語や短文を主な内容とします。【クリック】

単元の計画と主な指導内容

大	心身の	ア知識及び技能	(ア)身体機能の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・器官が発育し機能が発達する時期 ・発育・発達個人差 	小
			(イ)生殖に関わる機能の成熟	<ul style="list-style-type: none"> ・内分泌の働きによる生殖に関わる機能の成熟 ・成熟の変化に伴う適切な行動等 	

(イ) 生殖に関わる機能の成熟

思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。また、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

例えば、中単元の「生殖に関わる機能の成熟」の解説の中の緑枠(単語や短文)を主な内容に書けばいいです。【クリック】

内容のまとめりと 及び 当該単元の評価規準

第1学年【心身の機能の発達と心の健康】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解している。 ・ 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解している。 ・ 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされることを理解している。 ・ 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに、それらに対処する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。

中学校は自主的に
高校は主体的に

大学で配付した「教育実習の手引き」には、中学校第1学年の例として、内容のまとめりととの評価規準がこのように例示されています。ただ、知識・技能の評価規準は、単元目標に同じような内容が書いてあるので、単元名を入れた簡易的な内容でいいと思います。「主体的に学習に取り組む態度」は、中学と高校とは書き方が異なります。【クリック】

(新)保

中学
単元の評価規準

内容のまとめりごと

「知識 (技能)」

(大単元名)について、**個人生活**における健康・安全について理解を深める。(とともに、基本的な技能を身に付ける。)

※()内は「技能」の表記がある場合は記載

「思考・判断・表現」

(大単元名)について、**個人生活**における健康・安全に関する課題を発見し、その解決を目指して**科学的**に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えようとしている。

「主体的に学習に取り組む態度」

(大単元名)について、自他の健康の保持増進についての学習に**自主的**に取り組もうとしている。

単元または内容のまとめりごとの評価規準は、大単元名の後に評価の観点別にこのような文を加えて評価規準とします。赤字は中学校用です。【クリック】

(新)保体

高校
単元の評価規準

内容のまとめりごと

「知識 (技能)」
(大単元名)について、**個人及び社会生活**における健康・安全について総合的に理解を深め言ったり書きだしたりしている。(とともに、基本的な技能を身に付けている。)

「思考・判断・表現」
(大単元名)について、**個人及び社会生活**における健康・安全に関する課題を発見し、その解決を目指して**総合的**に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えようとしている。

「主体的に学習に取り組む態度」
(大単元名)について、自他の健康の保持増進についての学習に**主体的**に取り組もうとしている。

高校は、観点別にこのような文を加えて評価規準とします。赤字は高校用です。【クリック】

(新) 中学

学習活動に即した評価規準

内容のまとめりごと

「知識 (技能)」
 (中単元または小単元名)について、理解したことを言ったり書いたりしている。(とともに、基本的な技能を身に付けている。)

「思考・判断・表現」
 (関連する例示を記載)...語尾を「～こと」⇒
 「～を(発表やレポート作成などの表現活動を記載)している」に変える。

〇〇...発表やレポート作成などの表現活動

「主体的に学習に取り組む態度」
 (中単元または小単元名)について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に**自主的**に取り組もうとしている。

大学の資料では、学習活動に即した評価規準を記載する箇所がありませんが、評価規準は、中単元または小単元名に加えてこのような文を加えて評価規準としてもいいと思います。ただ、「思考・判断・表現」は、指導内容が例示されていますので、例示を活用した方法を示しています。【クリック】

(新)高校

学習活動に即した評価規準

内容のまとめりごと

「知識 (技能)」
 (小単元名)について、理解を深め、言ったり書きだしたりしている。(とともに、基本的な技能を身に付けている。)

「思考・判断・表現」
 (関連する例示を記載)...語尾を「～こと」⇒「～を(発表やレポート作成などの表現活動を記載)している」に変える。

○○...発表やレポート作成などの表現活動

「主体的に学習に取り組む態度」
 (小単元名)について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。

高校の学習活動に即した評価規準は、小単元名に加えてこのような文を加えて評価規準としてもいいと思います。ただ、「思考・判断・表現」は、指導内容が例示されていますので、例示を活用した方法を示しています。【クリック】

授業形態...指導方法の工夫

授業では、発問での方法が考えやすい

発問①...今持っている知識で回答できる
新たな知識・理解

発問②...今までの知識をかくはんさせる質問
科学的、総合的な知識理解

T・T

発問

実験
実習

ディベート

ディスカッ
ション

ブレイン・ス
トリーミング

調べ
学習

ロールプレ
イニング

保健学習ハンドブック(神奈川県立体育センター H24,3 改定版)より

本時の展開ですが、最近の授業形態にはこのような形態があります。中でも一般的なのが、「発問」方式です。求められる授業では、「メタ認知」能力を高める発問法があります。質問に対して生徒が答えるのは「今持っている知識」で答えるので、そこから新たな知識の学習を通してよりレベルアップを図る必要があります。【クリック】

本時の目標、本時の展開

本時の展開			
時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点 ※学習内容、学習活動の欄に記載してもよい	評価の観点及び評価方法 ※必ず書く
	※本時の内容や「めあて・目標」の説明を「はじめ」に記載する 本時のねらいや目標、目当て等に気付かせるための教師からの質問を指導案内に記載すると良い		
	教師からの質問を指導案内に記載するとともに、予測される生徒の回答や反応を記載すると良い ※「おわり」には「まとめ」とワークシート等の記録活動を入れる		評価の観点と評価方法を記載

本時の目標やねらいに気付かせる質問や具体的な健康行動につながる質問等を用意しておく必要があります。また、「今持っている知識」が個々に違うので、「話し合い活動」などで共通理解を図る必要もあります。【クリック】



お疲れ様でした。教員採用試験の二次試験対策は、6月にホームページにアップする予定です。【[クリック](#)】